

令和4年度第1回沖縄県総合教育会議 議事録（概要）

1 日時

令和4年6月13日（月）14:00～15:00

2 場所

県庁6階第2特別会議室

3 出席者

玉城デニー知事、教育委員会（半嶺満教育長、上原勝晴委員、山里清委員、藏根美智子委員、小濱守安委員、比嘉佳代委員）

4 会議の概要

(1)開 会

事務局から、知事並びに教育委員会の教育長及び出席予定の全委員が出席していることが確認された。

(2)あいさつ

（玉城知事）

はいさい、ぐすーよー、ちゅーうがなびら。

本日は大変お忙しいところ、令和4年度第1回沖縄県総合教育会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。

教育委員並びに教育委員会の皆様には、日頃より、教育施策の推進にご尽力いただき感謝申し上げます。

本日は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、「沖縄県総合教育会議」を開催いたします。

近年の教育行政においては、福祉や地域振興など一般行政との密接な連携が必要となっていることから、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の推進を図るため、沖縄県教育大綱を策定しましたが、今回、次期教育大綱の策定に当たって基本的な考え方を議論したいと思います。

また、次期教育大綱策定にあたっては、教育委員会の沖縄県教育振興基本計画とも整合を図ってまいる必要がありますが、この6月に教育振興基本計画が改定されたとのことで、今回、計画の内容について確認させて頂きたいと思います。

今年には本土復帰50年の節目の年であり、新・沖縄21世紀ビジョン計画がスタートしておりますが、沖縄県が抱える諸課題の解決に向けて、将来を担う子ども達の教育の充

実など、今後ますます教育の重要性は高まっていくと考えております。

教育委員の皆様には本日の会議において、率直な御意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ゆたさるぐとう、うにげーさびら。

(半嶺教育長)

教育長の半嶺でございます。県教育委員会を代表いたしまして一言ご挨拶を申し上げます。

まず始めに、知事におかれましては、教育委員会の取り組みに対し日頃より格別のご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

県教育委員会では、「新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」を踏まえ、教育行政分野における施策の展開を図るものとして、令和 4 年度から令和 13 年度を計画期間とする新たな沖縄県教育振興基本計画を、去る 6 月 9 日に策定いたしました。

本計画の主な特徴としては、非認知能力を育む「幼児教育の充実」や、ICT 等を活用した個別最適な学びと共同的な学びによる確かな学力の定着、ソサエティ 5.0 に対応した情報活用能力の育成に取り組むこととしております。また「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、子どもの貧困の解消に向けた総合的な支援を推進するとともに「児童生徒に対する地域の歴史・平和教育」の取組により「歴史・文化を尊重し、平和を希求する心の育成」を図ることとしております。

教育委員会としましては、これらの取り組みを推進し、「新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」を掲げる沖縄の社会的課題の解決や自立型経済の構築に貢献できる創造力あふれる人材育成に取り組んで参ります。

さて、本日、協議します「沖縄県教育大綱」は、本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱であります。特に、本計画にはない大学や専修学校に係る施策など、本計画と関連する施策を推進していくため、本日の協議では策定に向けた方向性を共有できればと考えております。

知事におかれましては、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(上原委員)

上原勝晴と申します。教育長職務代理を務めさせて頂いております。元幼稚園園長、小中学校校長、教育行政として勤務した経験から意見を述べさせて頂いております。

本日はよろしくお願い申し上げます。

(藏根委員)

藏根美智子と申します。学術経験、教育行政、元小学校校長の経験から意見を述べさ

せて頂いております。

よろしく申し上げます。

(比嘉委員)

比嘉佳代と申します。保護者の立場から様々な意見を述べさせて頂きたいと思っております。
よろしく申し上げます。

(山里委員)

山里清でございます。現在民間のほうでIT関係の会社、建築関係の会社の顧問をして
おります。主に社員教育を担当させて頂いておりますので、その経験を踏まえて教育
委員の任務にあっております。

よろしく申し上げます。

(小濱委員)

小濱守安でございます。県立病院の院長として、また医師としての立場から今回は小
児科医の立場として専門的な意見を述べさせて頂きたいと思っております。

よろしく申し上げます。

(3) 議題

【報告事項】 沖縄県教育振興基本計画の策定について (教育管理統括監説明)

**【協議事項】 次期沖縄県教育大綱策定の基本的な考え方及び骨子の案について
(総務部総務私学課担当説明)**

【質疑等】

(玉城知事)

事務局から説明がありました議題につきまして、ご意見ご質問等をお願いいたしま
す。

(藏根委員)

基本的な考えの中で高等教育、施設の充実がとくに変わったということで、「2.
多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり」のなか、「(3)地域の発展に寄与する
魅力ある高等教育環境の充実」を謳っております。

先日、放送大学で集中講義を行いました。新聞とネットメディアの利活用というこ
とで society5.0 は大きく謳われておりますけれども、今日説明されました新しい教育
の在り方の論点、society5.0 の教育について、学校教育は変わってきている、タブレ

ットは鉛筆代わりノート代わり学校はいいけれども、保護者や地域はどうなんだと質問が来るんですね。

今日質問したいのは、高等教育の施策というなかで、大綱のなかには県立看護大学や県立芸術大学のことは述べられていますが、知事部局ということで地域における産学官連携による取り組みの推進というのでも理解できます。

琉球大学や沖国大、キリ短などたくさんの大学をもっておりますけれども、教員採用の立場の、魅力ある高等教育環境の充実をどういう風に捉えているのかご説明頂きたいと思います。

(事務局)

総務私学課長の山内と申します。本日はよろしく申し上げます。

ご質問ありがとうございます。沖縄 21 世紀ビジョン基本計画での記述で、高等教育機関の環境の充実としましてどういう記載があるかご紹介いたします。

1 点目、県外大学等の高等教育機関の魅力向上、地域貢献機能の充実、2 点目として、複数の大学と企業、行政などの産学官連携による社会的課題解決と地域貢献、3 点目で、産業と高等教育機関の連携による実践的なキャリア教育の推進の観点を挙げております。

委員のご質問にもありましたように、それぞれの自主的な運営については尊重しつつ、県としてもそれらの機関の充実、あるいは行政との取り組みということで連携を図っていくという内容になっております。

ご質問のありました放送大学につきましては、国が設置しております放送による通信制大学ということで、所管は国になりますが、県内の大学との単位互換を実施しておりますので、この計画に基づく実際の取り組みの段階でキャリア形成に向けた取り組みでの施策展開の中で、連携の必要が出てくるかなと考えております。

(藏根委員)

ありがとうございました。具体的な取り組みとしては産学官連携とか、私たちの目に触れる新聞などで分かりますけれども琉大の開発とかそういうものですね。

あと、教育分野での知事部局での関与の仕方が私の方では見えてこなかったのが地域の宝である子どもたちを育てる教育部門、あるいは学び直しということで生涯学習の中で大事なことで、そういうことも勘案しながら教員養成の資質というところも意識してほしいなと思いますのでよろしく申し上げます。

(山里委員)

現行の教育大綱は 10 年前に作られたということで、10 年経って、2020 年以降社会に大きな変化が出てきているのではないかと考えております。これまでの経験や価値

観に基づいて対応していくということがかなり難しくなっています。例えば直近でいえば新型コロナ関連。新しい病原体が突然発生するとかそういったことで、予測困難時代をこれから子どもたちは生きていかなければならない、ということになると思っています。

新旧対照表の中で、新・沖縄 21 世紀ビジョンも踏まえてそういったことも取り入れたあるいは踏まえた施策が出ていますが、目標の方が旧大綱と表現としてはそれほど変わっていないのかなと思いました。私の意見としては目標の方にも、予測困難な時代を示唆するような表現というか、自主的に主体性をもって判断力を身に着けるということで、時代が変わっていくということを示唆するような表現を盛り込んでもいいのかなと思っていますが、いかがでしょうか

(事務局)

ご提案ありがとうございます。

今委員からありました新型コロナウイルスなどの特殊な事情については、21 世紀ビジョンでも策定の時に議論が出まして、そこに関しても記述等がございます。今ご提案頂きました件に関しては教育大綱という枠組みの中ではありますが、もう一度 21 世紀ビジョンを確認しまして、目標の中にキーワードで入れられるものがないか再点検しまして、次の案の時に検討の結果をご報告したいと思います。

(小濱委員)

大綱の施策展開の 3 番ですが、「子どもの貧困の解消に向けた総合的な支援の推進」という形で取り上げておりますけれども、前回の教育大綱の中でも同じ形で取り上げられておりますが、実際の効果はどうかということで見えていきますと、貧困世帯の割合は平成 27 年から令和 3 年までほとんど目に見えるような改善がないと思います。社会の状況が大きく変わっているということもあるのかもしれませんが、もう少し具体的に踏み込んだ対策、施策を取り入れていただければと思っています。

本当によろしく申し上げます。

(事務局)

ご提案ありがとうございます。

貧困状態にある子どもへの支援につきましては、県としても注力して取り組んでいるということで、織り込んでいたところであります。

今回も、中心となる子ども生活福祉部との連携ということで推進していくこととなりますが、施策展開の骨子で見出しとして「子どもの支援」とありますが、具体的な記述内容は本日の決定を受けて、子ども生活福祉部と支援の在り方について方向性を十分確認して更に取り組む内容になるよう検討していきたいと思っています。

(比嘉委員)

現在私たちの周りには、外国籍の両親のもとに生まれた日本国籍を持つ子ども達が少なくではありますが、頑張って暮らしています。今後この子どもたちが少しずつ増えてくるだろうという未来の中で、10年後にそういった子どもたちを誰一人取り残すことなく救えるような大綱の内容を盛り込んで頂けたら嬉しいと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

ご提案の内容につきまして、事務局としても関係部局と十分検討しながら大綱のなかに盛り込んでいけるよう検討してまいります。ありがとうございます。

(上原委員)

何点かお願いいたします。

質問というか文言が気になりますが、資料2の「基本的な考え方について」の3番目「沖縄21世紀ビジョン基本計画」とされておりますけれども、これは「新・沖縄21世紀ビジョン」と理解してよろしいかどうか。

2点目は資料3ですけれども、施策展開という構造図の「創造性・国際性に富む人材と生涯学習の振興」とありますが、人材のあとに“の育成”と文言がこないのかどうか気になりました。

3点目は施策展開の4「多様な学びの享受に向けた環境づくり」の「平和学習の推進及び次世代への継承」と書かれてありますが、教育振興基本計画にもあった人権の問題もありますから、少し大きな視点から「平和学習」が良いのか「平和教育」とした方が人権とか様々のものを含んでいけるのかなと考えたりしましたが、この3点いかがでしょうか。

(事務局)

1点目の資料2の3番目で書かれております「21世紀ビジョン基本計画」は先般策定された「新・基本計画」という趣旨で書いてあります。

2点目の提案で、資料3につきまして大綱の大目標であります「創造性・国際性に富む人材～」の結びのところは「人材の育成」という形がしっくりくるのではないかと。その後の生涯学習の振興の“振興”にも繋がるのではないかとというところで、今ご指摘を受けまして私の方でも気になりました。この表現につきましては適切な読み誤りのないような文言にしたいということで検討させていただきます。

それから資料3の施策展開4の(5)ですが、この大綱の骨子につきまして事前に知事部局に照会をかけたところ、子ども生活福祉部の方からこの「平和学習の推進及び

次世代への継承」という項目を入れてほしいということで、それに基づいた施策展開でありましたが、委員の提案の“平和教育”という部分についても子ども生活福祉部で行っている取り組みでありますので、その取り組みについても記述できるよう、施策展開の文言については委員提案の方向で部局と調整したいと考えております。

(上原委員)

この施策の基本的な考え方を、先端で頑張っている県民、子どもも大人も含めて県民一人一人が自分事としてやっていくと。沖縄県はこういった考え方で教育を進めていきますよと。それは21世紀ビジョンとか教育振興基本計画、全ての整合性をとって、一丸となって進めていきたいと思いますという強いメッセージがあると思います。

知事もよく仰る「誰一人取り残すことのない優しい社会づくり」は本県の目指すひとつの方向性だと理解しておりますが、時代が大きく変化しておりますので、周知や広報の仕方を工夫して、自分事として県民のひとりとして、私ができることはここだというような観点で受け止めていると、10年間というスパンで確実に一人一人が自分関わったということを実感できて、私も沖縄県づくりに参画しているんだと。参加ではなく参画までもっていくと、非常に素晴らしい大綱になるのかなと思います。

周知方法は色々あると思いますが、最近はQ&Aを使った周知の仕方や若者中心のSNSでの広報があると思いますが、法的に正しい方法で周知を工夫して、みんなが分かるようなやり方があれば有難いなと思っております。

(事務局)

ご提案、ご要望ありがとうございます。広報の仕方周知の仕方について、期間は限られますがただ単に事業を追加していただくだけでなく、どのように県民の皆様を知っていただくかという観点で、内部で工夫しながらつくっていきたいと思います。

(山里委員)

上原委員の方からSNSという発言がございましたので。

私は現在IT関係の会社におりますので、施策展開のところでもし検討できるのならお願いしたいと思うところがありまして、(施策展開2の)「多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり」の中の(2)「society5.0に対応する教育の推進」が骨子としてありますけれども、society5.0というのは色々な可能性を秘めたこれからの社会が変わってくるような、所謂社会構造を変えていくくらいのパワーを持っております。明るい展望はいっぱいあると思いますが、一方で負の部分というのもどうしても出てくるということで、今問題になっているのはフェイクニュースであったり、情報過多でどれが本当の情報なのか、データなのか。フェイク関係についてしっかり対応ができるような子どもたちを育てていかなければいけないと思っております。

それから SNS の怖いところが、表現の自由というところで色々発言できると思いますが、その反論と言いますかほぼ脅迫に近いような圧力であったり脅迫であったり。一方で SNS で麻薬関係の取引に中学生高校生が実際に引っかかっていると。

society5.0 に対する教育の推進という表現は良いと思いますが、適切に対応するだとか、主体的に対応できる教育、という形で我々としては対応して実践していかなければならないのかなと思っております。

もしかしたら実際の大綱を作る時の議論になるかもしれませんが、骨子の方にも society5.0 という言葉が出ておりますので、この後に“適切に”ですとか“主体的に”という文言を入れられたらお願いできないかと思っております。

(事務局)

ご提案ありがとうございます。

委員からの犯罪被害にならないよというご提案でしたが、21 世紀ビジョンの基本計画の方でも記述として、society5.0 に関する教育の推進の項目のなかで、児童生徒が ICT に触れる機会を増やし ICT 機器を正しく適切に使う能力という部分で、そこらへんについても意識をしたうえで、正しく適切にという中でそういう教育も含めて織り込まれていると認識しております。

今後、実施計画に基づいての大綱の中身の記述をやっていきますので、その中でもキーワードを盛り込んで落とさないよという事で、注意して策定作業を進めてまいりたいと思います。

(知事)

今の件については、利用する側とそれを管理対応する側の両方の記述がほしいという趣旨でもあると思いますので、部局ではその方向も含めて検討お願いいたします。

(藏根委員)

上原委員からもありましたが、今後、世界情勢からして“人権教育”というこの言葉を表に出して、私たちは意識しているということを県民に示さないといけないと思っております、再度私の方からもお願いしたいです。

人はひとりひとり社会の規範の中で自由に考え自由に行動できる権利をもつ。これを私たちは基礎基本、学校教育はその社会の規範を教えている。社会が基礎・基本だし大きな上層の部分だと思います。

もうひとつ、沖縄の歴史、文化を引き続き大事にされていますね。ちむぐくる、ゆいまーる、地域の子どもは地域で守り育てるという沖縄独特の言葉を前面に出して、県民が自分事として捉えられる、県民に伝わる大綱にしてほしいなと思います。

私たちは物事を良い方向で捉える DNA を持っておりますから、そういう意味でも心

の貧困をつくってはいけないと常々思っております。大綱にも可視化して見えるような文言を入れながらやって欲しいなと思います。

(事務局)

ありがとうございます。先ほどご提案のありました資料3の施策展開の4、(5)平和学習の部分は、子ども生活福祉部、女性力・平和推進課が人権について所掌事務となっておりますので、そちらの部の方にも、人権についても施策展開の中で表記してはどうかという点と、具体的な取り組みの記述の中にも趣旨を盛り込んでどうかということで、事務局から提案してまいります。

(知事)

人権教育についてはとくに、昨今の様々ないじめの問題等も絡んで非常に大きな課題であり、またそれをなくすための人権教育は言うまでもないと思いますので、部局とは十分調整のうえ、読み込めるという形ではなくしっかりと書き込めるような調整も含めて検討してください。よろしく申し上げます。

(知事あいさつ)

本日の「沖縄県教育振興基本計画」及び「次期沖縄県教育大綱の基本的な考え方及び骨子の案」について、貴重なご意見を賜り、ありがとうございました。

本日のご意見を踏まえ、基本的な考え方及び骨子案に基づき総務部で大綱の作成を進めていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

今後とも、教育委員会と知事部局の連携を深め、施策の推進に努めてまいりますので、「誰一人取り残さない社会」は常に教育とともに実践されるものと考えておりますので、教育委員の皆様におきましては、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

いっぺー にふえー でーびたん。

(司会)

以上を持ちまして令和4年度第1回沖縄県総合教育会議を閉会いたします。皆様大変お疲れ様でした。